

★ アジア草の根助成 書類選考通過団体 (投票用紙に番号又は団体名を記入)

同じアジアの一員としてアジア諸国で地域の市民のために活動する団体を応援する助成です

団体番号	助成申請団体・申請事業の概要等				
	団体名	活動エリア	申請額(万円)		
ア1	認定特定非営利活動法人SALASUSU 事業名と事業概要(応募用紙から)	カンボジア プノンペン都、 シェムリアップ州	50		
	<p>●「教師の学びの共同体」によるカンボジアの公教育の質改善事業 (背景・目的)カンボジアでは教育へのアクセスは拡大したものの、10歳時点での適切な読み書きができる子どもは10%であり、教育の質の向上が課題である。原因是、教師が知識を更新し合い、協働的に学び合う場が不足しており、教師自身の継続的な成長が難しいことがある。教育の質向上には、教師同士の学び合いを促す「教師の学びの共同体(PLC: Professional Learning Community)」の形成が鍵となる。本事業では、プノンペン教員養成大学(PTEC)附属中学校を中核とした校内外・地域レベルのPLC形成を通じて、教師の継続的な能力向上を目指す。 (実施内容)            ① 授業研究会の定期開催支援:当団体が授業研究会の企画・運営を支援し、教師が生徒の学びを観察した後に協議会で対話を実施。参加者は授業者への評価は行わず、生徒の学びや自らの学びをテーマに議論することで、実践を通じた学びの循環と同僚性を高める。            ② 訪問研修の企画・実施:当団体が運営するシェムリアップ州クチャ村の実験校を訪問し、授業研究の意義や方法への理解を深める。研修では「誰も取り残されない教室」の実践事例を共有し、PTEC附属中学校を地域PLCの中核校とするための基盤づくりを行う。            ③ 日本の教育専門家による指導:専門家による現地教師向けの講演や授業改善の指導を実施。</p>				
ア2	アジアなりわいネット(ALN) 事業名と事業概要(応募用紙から)	フィリピン	50		
	<p>●手織りの草木染の綿織物による、技術と所得の向上を図るプロジェクト            1) 草木染の綿糸で織る技術をアブラ州の織り手全体にひろめ、担い手を増やす。            2) 日本製の織機の部品を継続して導入し、生産効率の向上を図る。            3) アブラ州の農家に対し綿花栽培を奨励すると共に、紡績工場と連携し綿糸の安定供給を図る。            4) アブラ州内での草木染の技術と生産体制を確立する。            5) アブラ州の綿織物のプロモーションと新規販路を開拓する。            6) 各ステークホルダー間の連絡と調整する運営基盤を整備する。</p>				
ア3	Piece of Syria (PoS) 事業名と事業概要(応募用紙から)	シリア・日本	50		
	<p>●シリア帰還民の子どもを支える母語教育の質の強化 シリア帰還民の子どもを対象に、母語教育の質を強化し学びの持続性を高めることを目的とする。内戦で国外避難を余儀なくされた子どもたちは、母語を学ぶ機会を失い、シリア帰還後にアラビア語の読み書きに困難を抱えている。当団体は補習校を運営し、300名にアラビア語教育を行っているが、教員の指導力向上と保護者の学習支援力の強化が課題である。本助成により、教員研修と保護者向けの研修を実施し、家庭と学校が協力して子どもを支える環境を整える。これにより教育の質の向上と地域全体への学びの波及を図る。</p>				